

大島幹雄著 〈私の大学〉テキスト版2 サーカスは私の 〈大学〉だった

2013年2月25日
ON SALE
定価(本体1,800円+税)
四六判上製164頁
ISBN978-4-87559-272-3

新潟空港に着いたアエロフロート機のタラップから、一頭の熊が調教師と一緒に降りてきた。ポリショイサーカスのツアーマネジャー永井さんがささやいた。
「今日からお前は、あの熊と一緒にだぞ」
この熊との旅が、大学院入学をめざしていた26歳の青年の運命を一変させる。



ロシア語も満足にしゃべれない青白きインテリが、「ポリショイ舞台サーカス団」の一行と日本全国45都市を回ることになるとは!

腰掛けの仕事のつもりが、はまりにはまって世界各国を駆け巡る「サーカス野郎(ツィルカッチ)」の道を本格的に歩み始めてしまう。サーカスという世界を通じて、たくさんの人たちと出会い、多くの驚きの発見をする波瀾万丈のサーカス漂流記。自らのサーカス遍歴について著者が語る初めての書。

【目次】

1. 私のサーカス始め
2. 象との危険な旅
3. サーカスのセールスマン
4. サーカス行脚の旅
5. 素晴らしきクラウン(道化師)の世界
6. サーカスと革命
7. 海を渡ったサーカス芸人——沢田豊
8. 嘘つき萬里行状記
9. サーカス三兄弟
10. 国境を超える綱渡り
11. インディアンロープの謎
12. 桃太郎イリュージョン
13. 極北のサーカス団
14. ポリショイ・サーカス誕生秘話と呼び屋の東大
15. 海を渡ったサーカス芸人——シマダファミリーの運命
16. サーカス学誕生

大島幹雄 (おおしま みきお)

1953年宮城県石巻市生まれ。早稲田大学ロシア文学科卒業。ソ連・東欧などのアーティストを招聘する会社を経て、アフタークラウディカンパニー (ACC) に勤務。イベントや公演をプロモートし、日本各地に海外のサーカス団を招く。また「石巻若宮丸漂流民の会」の事務局長をつとめる。著書に『サーカスと革命』(平凡社、1990年)、『虚業成れり』(岩波書店、2004年)、『満洲浪漫』(藤原書店、2012年) など多数ある。



こぶし書房

〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-4-1-101
電話 03-3823-0524 FAX 03-3823-0527
email: kbs@kobushi-shobo.co.jp URL: www.kobushi-shobo.co.jp